



本郷教室 教室長ブログ 5月7日(土)



こんばんは。教室長の大内です。

前回のブログでお伝えした通り  
ゴールデンウィークを利用して  
奈良に行ってきました！

奈良に行くのは中学生の修学旅行以来の上、  
当時は歴史にも全く興味がなかったので  
とにかく新鮮というか良い旅行になりました！

それではスタートします！



京都駅で奈良駅行きの在来線を待つ間に  
寄ったスタバです。

いかにも京都らしい <sup>たたず</sup> 佇まいでした。



奈良に到着し

まず向かったのは唐招提寺とうしょうだいじです。

奈良時代に日本へやってきた中国の僧、  
鑑真が建てたお寺ですね。  
ご覧の通り、人がほとんどいませんでした。

奈良駅から唐招提寺までは  
タクシーを利用したのですが、  
運転手さんの話によると日本人は  
東大寺・春日大社・法隆寺に行くことが多く  
唐招提寺に行く人は  
あまりいないとのことでした。

鑑真が中国の僧だからか  
訪れていたのは中国の人が  
多かった印象ですね。



手前に見えているお花は

けいか  
瓊花という鑑真の故郷のお花です。

鑑真が日本に来た理由は

当時、日本の僧侶の墮落が問題となっており  
「日本の仏教界の規律を正してほしい」と  
日本の留学僧が熱心をお願いをしたためです。

この時代は航海技術が発達しておらず  
日本への渡航はまさに命がけでした。

鑑真は 54 歳で渡航を決意し、  
12 年間で 5 度の失敗の上  
失明するという苦難を乗り越えて  
66 歳のとき 6 度目の航海で  
日本にやってきました。

そして 72 歳でこの唐招提寺を建て  
76 歳で唐招提寺にて、その生涯を終えました。

故郷の花が

当時から 1300 年以上経った今でも  
こうやって添えられていることが  
鑑真への感謝と経緯が当時からずっと  
受け継がれている何よりの証でしょうね。

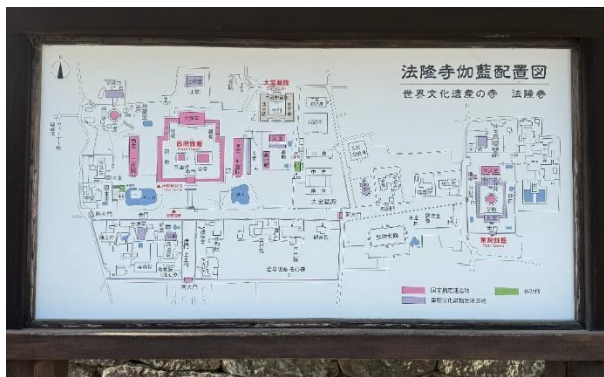


ほうりゅうじ  
次は法隆寺に行きました。

日本最古の木造建築として有名ですね！

飛鳥時代に

聖徳太子が 34 歳のときに建てたお寺です。



想像していたよりも非常に広く  
見て回るのに 1 時間半くらいかかりました。



こちらは法隆寺の<sup>こんどう</sup>金堂と呼ばれるところで  
中には教科書にも登場する

<sup>しゃかさんぞんぞう</sup>  
釈迦三尊像が納められていました。

※写真撮影 NG だったので写真がありませんが  
思っていたよりも小さかったです。  
(ネットで調べたところ 90cm くらいようです。)



<sup>ごじゅうのとう</sup>  
かの有名な五重塔！ 圧巻でした！

この五重塔は約 1300 年前から  
一度も地震で倒壊していない耐震性能を持ち  
さらに釘を使わずに建てられているそうです。

塔の中心にある心しんぼしら柱という太い柱の構造は  
現在のスカイツリーにも応用されているそうで  
最新の耐震工学も驚く構造だそうです。

地震に悩まされているのは今も昔も変わらず  
どうにかしようとした先人の  
強い意思の表れですね。



法隆寺の近くには古墳がありました。

古墳時代後期につくられた古墳で  
中からは成人男性 2 人の遺骨が  
出土したそうです。

(聖徳太子に関係する人物だと考えられているようです。)

年に2回ほど内部が公開されているらしく  
このときは中に入ることはできませんでした。

ちなみに古墳の周囲はベンチがいくつかあって  
地面には細かい砂利が敷き詰められており  
小さな公園のようになっていました。

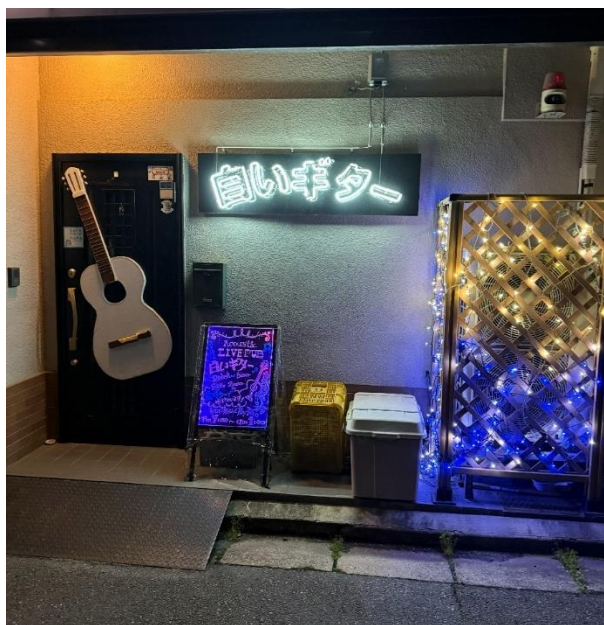
その公園を散策していると  
地面にこんなものを見つけて  
ほっこりしました。



古墳は当時の指導者の権力のシンボルとして  
建てられたものだと言われていますが  
その古墳のそばの地面に落書きがあるとは  
当時の人は夢にも思わなかったでしょうね(笑)。



法隆寺駅から宿泊先のホテルへ向かいました。  
歴史的な街並みに調和したデザインでした。



ホテルの近くに  
ギターの弾き語りができるバーがあり  
事前に問い合わせたところ  
飛び入りで演奏 OK とのことだったので  
夜はこちらに伺ったのですが…

まさかのお客さんゼロ(笑)

聴く人がいない中で  
ギターを弾いても仕方ないので  
バーのマスターと雑談して終了！  
残念！

これにて一日目は終了です。

翌日は平城京跡の朱雀門からスタート！



これは当時の朱雀門を再現したのですが  
まあとにかくスケールが大きかったですね！

別アングルの写真もあります。



「せんとくん」は今も現役のようです(笑)



この朱雀門の向こうも  
まだまだ続いているのですが  
やはり奈良の都は広大でしたね。  
当時は仏教の力で  
日本という国を守ろうとしていた時代です。  
奈良に都を置いた理由は  
国内外に天皇の権力と支配力を示すためとも  
仏教の中心地に都をおくことで  
国の安定と繁栄を祈願したためとも  
いわれています。

ちょうど修学旅行で来ている中学生らしき  
団体がいて  
「ここでライブやってほしい！」  
と言っていました(笑)  
確かに野外ライブ会場としては  
申し分ないですね。



次は教科書にも載っている

しょうそういん  
「正倉院」に向かいました。

しょうむてんのう  
こちらは聖武天皇の遺品が

納められている建物ですが  
想像していたよりも遥かに大きかったです。  
(もっと小さい建物を想像していました…)

中には入ることができませんでした。  
一般公開されるときがあるみたいですね。

ちなみに、タクシーの運転手さんの話によると  
正倉院は聖武天皇の妻である

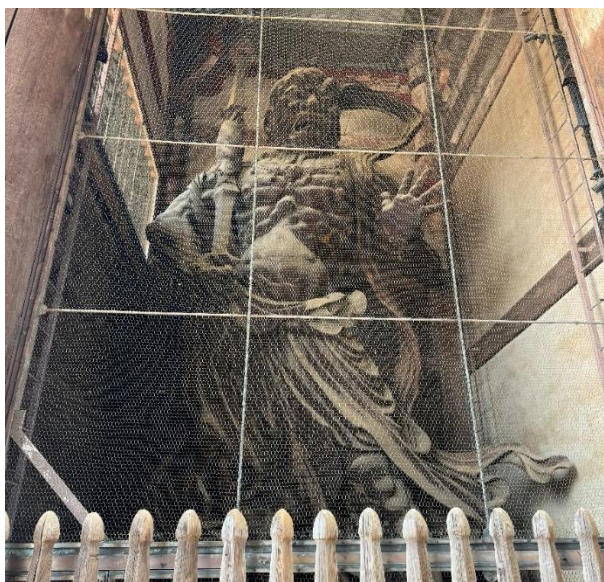
こうみょうこうごう  
光明皇后が建てたもので

聖武天皇が亡くなったときの悲しみのあまり  
「遺品を見ているのが辛い」ということで  
この正倉院を建て  
そこに遺品を納めたのだそうです。



とうだいじ  
次は東大寺にやってきました。

なんだいもん  
ここはその南大門と呼ばれるところです。



東大寺南大門と言えば  
鎌倉時代の文化を代表し、

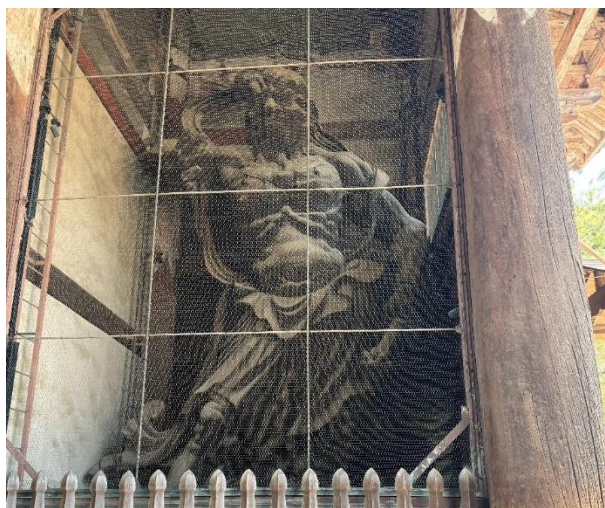
教科書にも載っている「こんごうりきしぞう金剛力士像」ですね！

本物はさすがに迫力がありました！

これを、重機などを使わずに人力のみで  
69 日間で作ったというのですから凄い！

また、金剛力士像は二体で一对とされており

先ほどの写真は「阿形」と呼ばれている像です。



こちらは「吽形」と呼ばれている像です。

互いのタイミングが  
ぴったりと一致している様子である

「阿吽の呼吸」という言葉は

ここからきているんですね。

仏教においては

阿・・・口を開く・・・吐く息・・・万物の始まり

吽・・・口を閉じる・・・吸う息・・・万物の終わり

ということらしいです。



ちなみに奈良公園がすぐそばにあるからか  
東大寺にもたくさん鹿がいましたね。

外国人観光客も多く  
ヨーロッパ系、アメリカ人、ロシア人、中国人、  
韓国人、東南アジア系など国籍問わず  
とにかくたくさん来ていました。

修学旅行に来ている中学生が  
「鹿と外国人ばっかやな！」  
という声が聞こえました(笑)

そして、東大寺と言えばこれでしょう！

写真撮影 OK だったので  
バッチリ撮ってきました！



かの有名な「奈良の大仏」ですね！  
これを見るだけでも  
修学旅行に来る価値があるのではないかと  
そう思わされる迫力がありません。

東大寺には博物館もあり  
そこで知ったのですが  
東大寺は平安時代末期に  
大半が戦で燃えてしまったそうで  
その後の鎌倉時代で

みなもとのよりと  
源頼朝の援助を受けて復興したそうです。

しかし、その後の室町時代末期の戦で  
大仏殿が燃えてしまい  
この「奈良の大仏」は100年ほど  
雨ざらしになっていた時期があったそうです。

これには  
当時の経済事情が関係しているようで  
再興が完了したのは  
江戸時代中期とのことです。

その後は焼けることなく  
明治時代を迎えたそうですが  
明治39年～45年と、昭和48年～55年に  
修復工事が行われて現在に至るようです。

たくさんの人の思いと苦勞の果てに  
この「奈良の大仏」が現存しているわけですね。

ちなみに東大寺博物館の終点には  
食事処もありました。



ただのソフトクリームなのに  
「東大寺ソフト」って名前がつくだけで  
妙に食べたくなるのは何故でしょう？

ええ、そうです。  
売り上げに貢献するチョロい観光客です(笑)。

次は奈良国立博物館に行きました。



「吉野」という

地方に関する展示のようだったので  
後醍醐天皇のことが展示されているかと思い  
行ってみたらビンゴでした。

後醍醐天皇は足利尊氏らと共に  
鎌倉幕府を滅ぼしたものの  
武士ではなく貴族を優遇する政治  
通称「建武の新政」を行ったことで  
足利尊氏を始めとする武士たちに追い出され  
奈良の吉野という地に逃げ延びました。

その後、足利尊氏は京都に新たな天皇をたて  
室町幕府を開きますが  
後醍醐天皇は  
自分こそが正当な天皇だと主張し  
日本に2人の天皇が存在することになりました。

この時代を南北朝時代と呼び

室町幕府側の京都の天皇を北朝<sup>ほくちょう</sup>

後醍醐天皇がいる奈良の吉野を南朝<sup>なんちょう</sup>

と呼ぶようになりました。

後醍醐天皇は

南朝による日本の統治と平和を願い

すべての願いを叶えてくれると言われる仏像を  
熱心に拝んでいたとのこと。



こちらがその仏像…のクリアファイルです。  
(仏像の写真撮影はNGでした)

右側が教科書にも載っている  
後醍醐天皇です。

※中2の1学期中間試験の試験範囲ですよ！



次は奈良公園を經由し<sup>かすがたいしゃ</sup>春日大社に行きました。



鹿さんが入口でお出迎えしてくれました(笑)  
春日大社は

全国におよそ 3000<sup>しゃ</sup>社ある

春日神社の<sup>そうほんしゃ</sup>総本社で

藤原氏の権力と繁栄を守るために  
藤原氏の守り神をまつた神社と  
言われています。



藤の花がとてもきれいでした。

ここも外国人観光客が多く  
特にこの藤の花をバックに写真を撮る  
外国人観光客がたくさんいましたね。

春日大社の後は食事を取りましたが  
ここで事件が起きました。

入口で先にメニューを見て注文をする方式で

「こちらで注文してください」と

店員さんが声掛けをしている中  
その店員さんが私に向かってこう言ったのです。

**「Order here , please.」**

**いや！！ 日本人！**

**わたし 日本人！**

**アイ アム ジャパニーズ！**

まさかの接客に驚きすぎた私の返答は・・・

「あ、うなぎ定食をお願いします。」

いや！そこは

一体、何人に見えたのか聞けて！（笑）



色々な意味で思い出深い食事になりました。

最後はこうふくじ興福寺に行きました。



こちらも藤原氏のために建てられたお寺で  
春日大社は神社なので神道  
興福寺は寺院なので仏教

この2つをおさえることで  
藤原氏は  
当時の日本の宗教全体を支配する形になり  
権力を強めたと言われています。

写真撮影は NG だったのですが

大きな<sup>せんじゅかんのん</sup>千手観音像を見ることができました。

修学旅行生もたくさんいて  
中学生当時の自分と一緒に  
あまり歴史に興味のない中学生が  
展示物をどんどん素通りしていく中でも  
この千手観音像は  
手を合わせる中学生が多かったですね。



有名な五重塔は修理中でした。  
完成は 2034 年とのこと。  
ところで学生の団体がたくさんいたのですが  
中学生の団体はみんな静かだった中  
ひときわ元気よく大声で走り回っている  
数名の女子高校生が印象的でした(笑)。



帰り道の奈良駅周辺のローソンです。  
地理の教科書で見かけるやつですね！  
奈良の歴史的な景観に調和させるため  
このようなデザインになっています。



どこのお土産屋さんにもある  
「ご当地ちいかわ」  
他のキャラクターが 700 円くらいの中  
このちいかわちゃんは 1500 円でした。

2 秒ほど悩んで(←悩んでない)  
買ってしまいました(笑)

さて、これで以上になります。

京都の寺院の数は約 3000 に対し  
奈良の寺院の数は約 1800 だそうです  
平安時代よりも前の寺院の数は  
分かっている範囲で  
京都はおよそ 8 つに対し  
奈良は 83 だそうです。

奈良は日本仏教が本格的に始まった地  
そう考えてよいと思います。

その仏教そのものは  
西暦 538 年に

朝鮮半島の<sup>くだら</sup>百済という国から伝わり

西暦 594 年に聖徳太子らが中心となって  
国として仏教を敬い  
寺院を建てることを推奨します。

その後は西暦 724 年に  
聖武天皇が妻である光明皇后と共に  
仏教の力で日本を守ろうと  
東大寺や国分寺などを建設する方針を  
打ち出します。

聖徳太子が始め、聖武天皇が広げ  
その後続く数多の先人たちが  
人生をかけて守り抜き  
この国の平和を願う思いが  
深く染み込んでいる地域・・・  
それが奈良なのだと  
帰りの新幹線の中で思いました。

また、今回の旅では  
たくさんの外国人観光客を見かけましたが  
マナーの悪い外国人観光客は  
一人も見かけませんでしたし  
一礼してから門をくぐったり  
目を閉じて仏像に手を合わせる姿を  
たくさん見かけました。

生まれた国も言語も異なるのに  
祈りや願いは一緒なのかもしれませんね。

それでは今日はこの辺で！

最後までお読みいただき  
ありがとうございました！

P.S.

今日のBGM

…というか奈良から帰る新幹線の中で上記の  
ようなことを思っていたら  
シャッフル再生していた iPhone から

LUNA SEA の <sup>ブリーズ</sup>Breathe という曲が

流れてきまして…

これが個人的に

今回の旅にぴったりの雰囲気な気がして  
帰りの新幹線で何度も聴いていました。

もし良かったら聴いてみてください。

特にイントロのギターが奏でるフレーズと  
音色が完璧なんです！

歌詞はラブソングだと思うのですが

恋人だけでなく家族や親友など  
大切にしていきたい人への思いを  
描いた歌だと思いたすが  
約1300年前から続いてきた  
平和を願う先人たちの祈りと願い  
それが現在を生きる私達にも向けられている  
そう思って聴くこともできる気がして…

最後にその歌詞を綴って  
終わりにしたいと思いたす。

## LUNA SEA 「Breathe」

かけがえのない君に  
変わることのない風に  
終わることのないこの夜に

ずっと いつまでも  
くる朝に 願いを込めて

何度も離れたことも  
涙をふいたことも  
独りぼっちにしたことも

ずっと いつまでも  
この歌に すべてを捧ぐ

時を止めて 出逢った場所で  
舟を浮かべ 今 手を重ね

空に 浮かぶ街で  
忘れていた 呼吸をしよう

ずっと ずっと 見つめさせて  
君のそばで 世界が終わるまで  
ずっと ずっと 愛してる 君を

作詞・作曲 LUNA SEA

大内